

新しい公共支援事業の成果等報告
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1. 成果等報告

モデル事業名	地域企業による「地域NPO支援」プロジェクト																					
分類	<input type="checkbox"/> 一般枠 <input checked="" type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 <input type="checkbox"/> 震災支援枠 (該当するものにチェック)																					
事業実施主体名	杉並 NPO 支援ネットワーク推進協議会 (杉並区 NPO 法人 CB すぎなみプラス 等)																					
実施期間	平成 24 年 5 月 8 日から平成 25 年 3 月 31 日																					
支援額 (注釈参照)	交付額：505 万円 <table> <tr><td>委託費</td><td>1,561,000 円</td></tr> <tr><td>印刷製本費</td><td>17,000 円</td></tr> <tr><td>使用料及び会場借料</td><td>11,000 円</td></tr> <tr><td>諸謝金</td><td>158,000 円</td></tr> <tr><td>諸謝金委託費</td><td>70,000 円</td></tr> <tr><td>消耗品費</td><td>122,500 円</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>2,810,500 円</td></tr> <tr><td>通信運搬費</td><td>198,000 円</td></tr> <tr><td>募集広告費</td><td>50,000 円</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>52,000 円</td></tr> </table>		委託費	1,561,000 円	印刷製本費	17,000 円	使用料及び会場借料	11,000 円	諸謝金	158,000 円	諸謝金委託費	70,000 円	消耗品費	122,500 円	人件費	2,810,500 円	通信運搬費	198,000 円	募集広告費	50,000 円	旅費	52,000 円
委託費	1,561,000 円																					
印刷製本費	17,000 円																					
使用料及び会場借料	11,000 円																					
諸謝金	158,000 円																					
諸謝金委託費	70,000 円																					
消耗品費	122,500 円																					
人件費	2,810,500 円																					
通信運搬費	198,000 円																					
募集広告費	50,000 円																					
旅費	52,000 円																					
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ● NPO 法人 CB すぎなみプラス 主体となる NPO 法人。事務局、その他モデル事業の企画・運営など ● 杉並区 モデル事業の広報協力、管理など ● NPO 法人杉並中小企業診断士会 調査分析(促進)・まとめ、中小企業コーディネート ● 東京商工会議所杉並支部 会員(2500社)への協力PR ● 公益社団法人 東京青年会議所杉並区委員会 会員(566人)への協力PR ● 社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会 企業・社員のボランティア活動の教育、杉並区内の支援事業の広報協力 ● 障害者の住みよい杉並をつくる会 会員団体への事業参加PR、企業・社員へのボランティア教育、「高円寺阿波踊り」(障害者が参加しています)への企業社員ボランティア参加の協力など 																					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 区内 NPO の活動 PR NPO の活動を随時ホームページ等でアップ ● NPO のスキルアップ講座の開催 企業へのプレゼンテーション力のアップのための講座や NPO としての「ビジネス力」を磨く講座の開催 																					

	<ul style="list-style-type: none"> ● マッチング支援 地域のNPOと企業側がメリットを感じる「マッチング」の仕組みを作り ● モデル事業の「進展や成果」発信 冊子やホームページなどで情報発信することで、他地域への波及効果を目指しました。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 実態調査 地域の課題を明確にするために、企業、NPO 双方に「協働に関するアンケート」を実施しました。得られた回答を詳しく分析することで、課題が明確になると共に、新たな課題、NPO・企業それぞれの考え方などが見つかりました。 ● 講座・講演会、交流会・ワークショップ事業 2回の講座・講演会と5回の交流会を開催しました。 講座・講演会では、NPO のスキルアップ（広報力アップや「自分たちで稼ぐ」事の重要性を認識する）に注力し、交流会では交流することはもちろんのこと、自分たちをアピールする時間を多く作るよう設計しました。 ● マッチング 開催講座、交流会・ワークショップ等の「皆に知ってもらおう」「皆を知る」という役割とは別に、もっと進んだ形での協働・マッチングも推進して来ました。 以下に、本事業でのマッチングを紹介します。 ● モデル事業PR、情報発信 情報発信では、紙、インターネット、区報など、ケースに応じての併用含め活用しました。 ● 簡易データベース作成、運用 参加者、関係者を、関連項目とつなぎあわせることで、名簿を簡易データベース化しました。今回は特にデータベースソフトを使わずにエクセルで管理しました。 いつ誰が参加したか？などをすぐに確認できることで、事業運営における労力を大幅に軽減すると共に、次年度以降の継続的な活動に繋がる資産として価値も大きいものとなりました。
得られた成果及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 成果 <ul style="list-style-type: none"> ➢ NPO対象講座参加団体 30以上。 →31 団体 ➢ 「マッチングワークショップ」参加者、NPO、企業あわせて50組以上 →69 団体 ➢ NPOと企業の協働事例10件以上 →6 ➢ プロボノの事例10件以上 →1 ➢ 「すぎなみNPOフェスタ2012」への出展や寄附による企業参加を20社以上増やす。 ➢ NPO対象・企業対象講座では、それぞれアンケートの評価を5段階で3以上7割を目指す。 → 7割以上の成果 ➢ 「高円寺阿波踊り」(障害者支援)への企業社員ボランティア参加を10名以上集める。

	<p>→4</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 波及効果 中間支援組織として事業をスタートする際の、事業フェーズの考え方、データベース利用、IT利用の部分をモデル化することで、他団体が活用できるものになっています。特に事業フェーズに関しては、事業をスタートすることでわかったことが多く、どこに注力するか？という判断基準を提供できる点が評価できる点です。また、データベース、IT利用等の利用についても、最低限のリテラシーを有する人にも簡単に利用できる手法を簡単に提供できます。
評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価にレを付けてください。)

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

2. 添付書類

自己評価シート